株式会社 ポプラ

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月に開催
期末配当金基準日	毎年2月末日
中間配当金基準日	毎年8月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社
同連絡先 （お問い合わせ先）	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社　大阪証券代行部 〒541-8502　大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話0120－094－777（通話料無料）
公告方法	電子公告といたします。
公告掲載ＵＲＬ	http://www.poplar-cvs.co.jp/ （ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。）
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	7601

（ご注意）

1．株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんので、ご注意ください。

2．特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。

3．未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

配当金計算書について

配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになられる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

当社ホームページのご紹介

http://www.poplar-cvs.co.jp/

当社に関する様々な情報を公開しております。

平成22年11月発行

株式会社 ポプラ

第36期 中間報告書

平成22年3月1日から平成22年8月31日まで

商品力アップや差別化商品の強化に重点を置き、売上の回復を図ってまいります。

代表取締役社長　目黒 真司

Q1 当中間期の業績について教えてください。

A1 記録的な猛暑により、7月・8月の来店客数は前年同期並みに回復してきてはいるものの、客単価は前年同期比97.8％と依然として低迷が続いており、チェーン全店売上高は46,278百万円（前年同期比6.6%減）、営業総収入は29,207百万円（同0.5%減）、営業利益は295百万円（同33.1％減）、経常利益は317百万円（同32.0%減）、また四半期純利益は73百万円（同74.4%減）となりました。

Q2 当中間期の取り組み施策について教えてください。

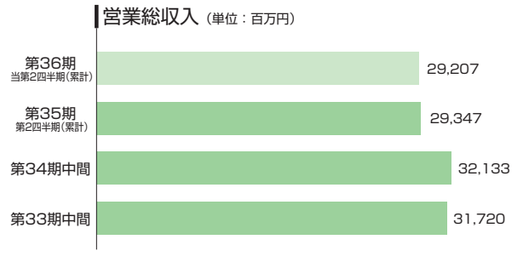
A2 商品政策面では、伸長しているカウンター商材の強化として、チキンナゲット「ポプナゲ」を新規導入し、FF商材の充実を図りました。また、北陸地区では地場企業（富山ライトレール株式会社）と提携し、地元の特産品を使用した「ポートラムおむすび」を発売し、九州地区では福岡県産米「めし丸元気つくし」の発売や、福岡県産米を使用した「めし丸くん　おすすめ『おにぎり』」の発売など、地域のお客様に愛される品揃えや店舗づくりを実施してまいりました。

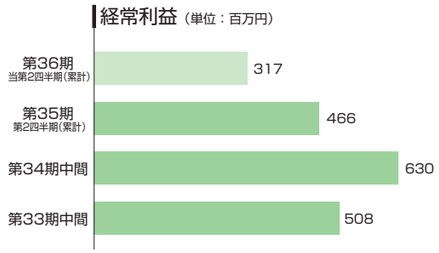
店舗開発面では、閉鎖型商圏・小規模店舗でも経営を可能にする当社独自の「製販一貫体制」「売上ロイヤリティ制度」による出店の自由度を活かし、自衛隊基地内（大津駐屯地他2店）や行政庁舎内（立川市役所、横須賀市役所）など、特殊な商圏への出店を加速してまいりました。

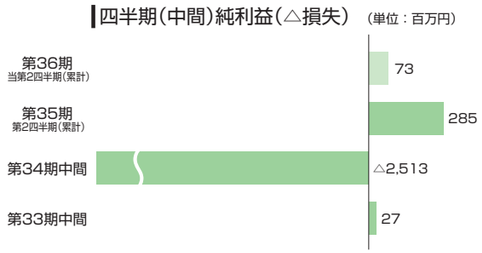
Q3 今後の取り組みについて教えてください。

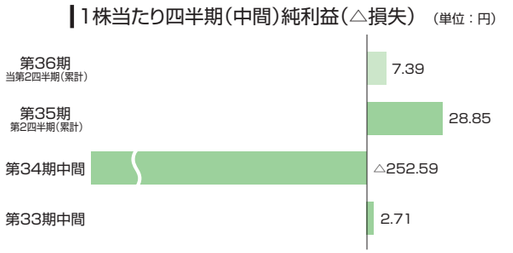
A3 10月以降はたばこの駆け込み需要の反動で、来店客数、客単価ともに大きな下落が見込まれるため、商品力アップや差別化商品の強化に重点を置くとともに、お客様の立場に立った商品提案や新しいサービスの構築、売上向上の販促活動を推進し、売上の回復を図ってまいります。

財務ハイライト









ご当地商品

ポプラでは地域の特産品や食材を使った商品の開発により、地域に密着した売場づくりと地域活性化を目指した活動を進めております。

富山県

白えび天重

販売期間
（平成22年4月20日～平成22年6月21日）

富山県特産品の白えびをテーマにした、かき揚げ天重弁当。お好みでオリジナル天つゆをたっぷりかけていただく。

※白えび最盛期前の販売のため、新鮮な台湾産を使用

冷し麺富山ブラック

販売期間
（平成22年6月22日～平成22年9月13日）

ご当地ラーメン「富山ブラック」を冷し麺にアレンジ。チャーシューと特製濃口醤油スープが特徴。

ポートラムおむすび

販売期間
（平成22年8月10日～平成22年9月6日）

富山市の中心部を走る路面電車「ポートラム」をパッケージに描いたおむすび。白えびとホタルイカの２種類の味で販売。

福岡県

めし丸くん　おすすめ「おにぎり」

販売期間
（平成22年7月16日～平成22年9月9日）

福岡県産米「めし丸元気つくし」（JA全農ふくれん）を使用したおむすび。中具も九州産食材を使用した６種類の味で販売。

※「めし丸くん」はJA全農の登録商標です。

熟成博多辛子明太子

みつせ鶏とごぼうのそぼろ

有明海苔佃煮

岡山県

津山名物ホルモンうどん

販売期間
（平成22年3月9日～平成22年6月21日）
※平成22年10月26日　リニューアル発売

岡山県津山市で50年以上前から食べられているホルモンうどんを再現。ハツ、センマイなどの5種類のホルモンと野菜を醤油味のソースと味噌だれで味付けしたボリューム感ある焼きうどん。

※記載商品は過去に販売した商品の一例です。今後も随時、ご当地商品を発売予定です。

商品情報

おむすび

ポプラのＰＢブランド『おむすび日和』がパッケージ・フィルムを一新して、この秋リニューアルしました。梅、高菜、紅鮭などの定番商品はさらにおいしくなり、直巻おにぎりのバリエーションも増えました。

おでん

今年のおでんは濃口醤油と白醤油をダブルで使用した「旨コク極みだし（W醤油仕立て）」。独特の香りと風味を持った白醤油をプラスすることで、コクと旨味は残しつつ、すっきりとした味わいに仕上げました。

中華まん

新作　塩豚カルビまん（売価130円）
平成22年11月16日発売予定
豚バラ肉を白ネギとミネラル豊富な「尾鷲海洋深層水の塩」を使用した塩ダレで和えて、焼肉屋のネギ塩カルビを中華まんで再現しました。

ベーカリー

ポプラのPBブランド「ベーカリーストリート」がこの秋リニューアルしました。若年男性をターゲットにした150円のボリュームパンなど、品揃えを強化しています。

行政庁舎内

職員、来庁される方だけでなく、市民の皆様に開かれた憩いの場を目指して

ポプラ　立川市役所店
平成22年5月6日オープン
立川市役所新庁舎（東京都立川市）1階にオープンし、約40坪の売場に弁当、菓子、飲料、雑誌などの商品のほか、ATM・カラーコピー機の設置やEdy、Suica、PASMOによる電子マネー決済を導入するなど、利便性を高めております。

生活彩家　横須賀市役所店
平成22年7月22日オープン
横須賀市役所本庁舎（神奈川県横須賀市）1階にオープンし、通常のコンビニ商品のほか、登録販売者による一般用医薬品の販売を行っております。また、店内へのAED（自動体外式除細動器）設置や売上の一部を市民公益活動団体支援基金（よこすか元気ファンド）に寄付する活動を通じて、地域社会への貢献活動に取り組んでおります。

自衛隊基地内

出店形態の自由度を活かして、新たに3店出店し、自衛隊基地内店舗は合計4店舗となりました

ポプラ　小松基地店
平成22年4月8日オープン
航空自衛隊小松基地内（石川県小松市）に自衛官の方の福利厚生の一環としてオープンしました。新聞、日用雑貨類の取扱いを充実させ、自衛隊グッズを取り揃えております。
※基地内店舗のため、一般の方のご利用はできません。

広島市とエコパートナー協定を締結

広島市と当社は平成22年4月7日に「ひろしまエコパートナー協定」を締結し、当社が事業活動を進めていく上で、地球温暖化問題やエネルギー問題、ごみ問題を解決する取り組みを広島市と連携・協力して進めていくことを確認しました。

活動の一部として、発注精度の向上による売れ残り食品の削減と生ごみの堆肥化、廃食用油の油脂化などに取り組んでおり、また、従業員各々が「マイ箸　マイコップ持参運動」に参加することで、環境保全意識の向上を図っています。

夏休み周遊山陰観光スタンプラリーを開催

「夏休みは山陰のポプラと観光スポットへ！」と銘打ち、平成22年7月17日から8月31日の夏休み期間中、ポプラと山陰地区の観光施設がコラボレーションしたスタンプラリーを開催しました。専用応募ハガキに島根・鳥取県内のポプラ店舗（1箇所）とパンフレット記載の観光施設（2箇所）のスタンプを押して郵送すると、抽選でプレゼントが当たるキャンペーンで、地域を盛り立てる企画となりました。

島根・鳥取県でイーネットATMサービスを開始

当社は株式会社イーネットと株式会社山陰合同銀行との業務提携により、平成22年5月24日から島根・鳥取県下のポプラ店舗（19店舗）でコンビニATMサービスを開始しました。導入店舗は順次拡大予定で、今後も更なるサービスの拡充を進めてまいります。

JICAボランティアを応援

当社はJICA（独立行政法人 国際協力機構）の国際貢献活動に賛同し、店舗でのポスター掲示により、JICAボランティアの募集に協力しております。

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

科　目	当第2四半期末 平成22年8月31日現在	前事業年度末 平成22年2月28日現在
【資産の部】		
流動資産		
現金及び預金	3,380	5,096
受取手形及び売掛金	255	211
商品及び製品	1,740	1,672
原材料及び貯蔵品	36	33
その他	1,302	2,074
貸倒引当金	△ 3	△ 5
流動資産合計	6,711	9,082
固定資産		
有形固定資産		
自社有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,592	2,533
土地	3,257	3,234
その他（純額）	398	405
自社有形固定資産合計	6,248	6,172
貸与有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,551	1,578
土地	451	564
その他（純額）	196	219
貸与有形固定資産合計	2,199	2,362
有形固定資産合計	8,448	8,535
無形固定資産	126	138
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,596	3,759
その他	1,975	2,114
貸倒引当金	△ 761	△ 803
投資その他の資産合計	4,810	5,071
固定資産合計	13,384	13,745
資産合計	20,096	22,828

科　目	当第2四半期末 平成22年8月31日現在	前事業年度末 平成22年2月28日現在
【負債の部】		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,589	3,959
加盟店買掛金	1,714	3,390
短期借入金	48	132
預り金	1,598	1,772
未払法人税等	72	112
賞与引当金	97	129
その他	1,434	1,679
流動負債合計	8,555	11,175
固定負債		
リース債務	125	115
退職給付引当金	242	234
長期預り金	2,203	2,301
その他	150	198
固定負債合計	2,722	2,849
負債合計	11,278	14,025
【純資産の部】		
株主資本		
資本金	2,410	2,410
資本剰余金	2,650	2,650
利益剰余金	3,818	3,794
自己株式	△ 91	△ 91
株主資本合計	8,786	8,763
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	31	39
評価・換算差額等合計	31	39
純資産合計	8,818	8,803
負債純資産合計	20,096	22,828

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

point 1 流動資産・流動負債

前事業年度末は休日のため仕入債務が2ヶ月分計上となっておりましたが、当第2四半期末は平日のため現預金、買掛金ともに減少しております。

point 2 売上高

猛暑により7～8月の売上は大きく伸長したものの、3～4月期の天候不順の影響等により、既存店売上前年対比は前年を下回る結果（前年同期比：93.7%）となりましたが、直営店舗数が前年より増加したことに伴い、売上高は前年を上回りました。

point 3 営業総利益

チェーン全店売上高の減少に伴い、営業総収入（売上高＋営業収入）も減少しましたが、値入率の改善に伴い営業総利益は増加（前年同期比：101.4%）いたしました。

point 4 特別損失

当第2四半期は採算性の低下した直営店舗18店の閉店（前年同期：1店閉店）を実施したことに伴い、店舗閉店損失は80百万円の増加、また減損損失は子会社による土地の売却、9月の閉店2店舗分を計上したことにより、31百万円増加いたしました。

四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

科　目	当第2四半期（累計） 平成22年3月1日から 平成22年8月31日まで	前第2四半期（累計） 平成21年3月1日から 平成21年8月31日まで
売上高	26,839	26,819
営業収入	2,368	2,527
売上原価	20,962	21,213
営業総利益	8,244	8,133
販売費及び一般管理費	7,948	7,692
営業利益	295	441
営業外収益	36	40
営業外費用	14	15
経常利益	317	466
特別利益	72	23
特別損失	159	55
税金等調整前四半期純利益	230	434
法人税、住民税及び事業税	47	51
法人税等調整額	109	96
四半期純利益	73	285

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科　目	当第2四半期（累計） 平成22年3月1日から 平成22年8月31日まで	前第2四半期（累計） 平成21年3月1日から 平成21年8月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,434	△2,119
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 130	△ 529
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 150	△ 87
現金及び現金同等物の増減額（△減少）	△1,716	△2,737
現金及び現金同等物の期首残高	5,093	6,366
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,377	3,629

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社情報

会社概要

（平成22年8月31日現在）

社　　名	株式会社ポプラ
本　　社	〒731-3395 広島市安佐北区安佐町大字久地665-1
資 本 金	24億1,013万7,725円
設　　立	昭和51年（1976年）4月20日
チェーン店舗数	700店舗
従 業 員 数	635名
事 業 内 容	当社は、フランチャイズチェーンシステムによるコンビニエンスストアの経営を主要業務として営んでおります。

主な子会社

会社名	資本金（千円）	出資比率（%）	主要な事業内容
大黒屋食品株式会社	10,000	100	食品製造卸事業
株式会社キリン堂薬局	12,000	100	ドラッグストア事業
ポプラ保険サービス有限会社	3,000	（注）100（73.3）	保険代理店事業

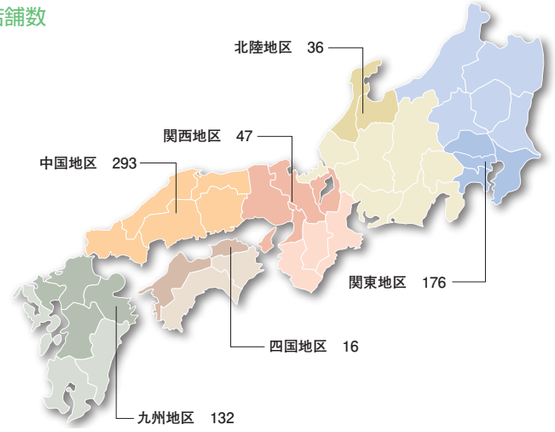
（注）出資比率には、間接所有分（　）を含めて記載しております。なお、その内訳は、当社26.6%、大黒屋食品株式会社36.7%、株式会社キリン堂薬局36.7%となっております。

役員

（平成22年8月31日現在）

取締役会長（代表取締役）	目黒俊治
取締役社長（代表取締役）	目黒真司
取締役	野村一雄
取締役	市村英世
常勤監査役	相良勝彦
常勤監査役	宮崎　進
社外監査役	臼田耕造
社外監査役	大野勝美

店舗数



当中間期の主な新規開設店舗

小松基地店（石川県）
the SOHO青海店（東京都）
立川市役所店（東京都）
理化学横浜研究所店（神奈川県）
横須賀市役所店（神奈川県）
千葉谷当店（千葉県）
北浦和西口店（埼玉県）
大津駐屯地店（滋賀県）
岡山福富中店（岡山県）
鳥取伏野店（鳥取県）
米子天神町店（鳥取県）
邑南矢上店（島根県）
浜田朝日町店（島根県）
海田市駐屯地店（広島県）
宇部興産中央病院店（山口県）
下関椋野店（山口県）
博多大博通り店（福岡県）
岡垣芹田店（福岡県）
皿山店（福岡県）

株式情報

株式の状況

（平成22年8月31日現在）

発行可能株式総数	36,160,072株
発行済株式の総数	10,040,018株
株主数	7,563名

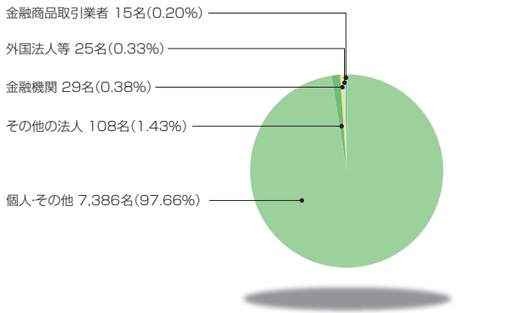
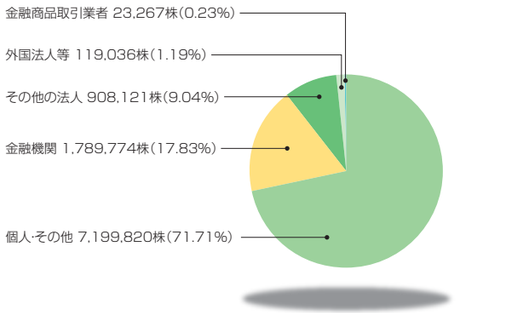
第35期期末に比べ、746名増加しました。

大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
目黒　俊治	2,814,944 株	28.41 %
ポプラ協栄会	1,332,409	13.44
ポプラ社員持株会	306,531	3.09
株式会社広島銀行	212,960	2.14
日本生命保険相互会社	206,260	2.08
株式会社もみじ銀行	172,934	1.74
東京海上日動火災保険株式会社	159,720	1.61
三菱UFJ信託銀行株式会社	133,100	1.34
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	126,000	1.27
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（りそな銀行再信託分・株式会社もみじ銀行退職給付信託口）	125,800	1.26

（注）1. 当社は自己株式133,291株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株主分布状況



所有者別株式分布状況